

## 平成28年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	荒川のぞみの会	職名	会長	助成金額	400,000 円
氏名	大沼弘子		印		
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
知的障がい児、者の社会参加への訓練事業					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>当団体は40年以上前より障がい児・者のレクリエーションや親の文化活動を行っているが、近年、親の高齢化、又、子の高齢化に伴い異性介助が大変困難になってきている。又、最近の状況として若い世代の障がい者を持つ親は就労している事が多く、障がい者団体に入会して積極的に活動する人が少なくなってきており、会員数の減少により会費収入やバザー収入が減少した。（1年前より学齢児の会員はいなくなった。）会員は男性が多く、また男女とも歳を重ねる毎にこだわりが強くなる傾向がある。毎年の恒例行事などは彼らにとってはレクリエーションであると同時に「やらなくてはいけない事」となっているが、団体立ち上げ当時からの親にとっては、コントロールのきかない子供に対する異性介助は大きな負担になっている。そのため、熟練した男性有償ボランティアに頼まざるを得ない状況である。また、バスハイクなどのレクは近年の物価上昇に伴いバスチャーター代、入場料などが上がっており、減収した会には大きな負担となっている。毎週土曜午後の活動においては月一度程度の頻度で屋外活動（歩け歩け、ボウリング、プール等）を行っているが、これに於いても男性有償ボランティアの役割が重要となる。</p> <p>以上のことから、会なくしては障がい者や高齢の親の積極的な遠出や徒歩での外出が難しい状況となりつつあり、社会とのかわりが希薄となる可能性がある為、外出時のボランティアの運用等で助成金を積極的に活用させていただいた。</p>					
概要：平成28年10月～平成29年9月の一年間に於ける実績					
① 6月10日 さくらんぼ狩り（於 山梨） 参加者 33名（親含む）、指導員 4名、ボランティア 4名 （前年度：ボランティア 2名 → 今年度：ボランティア 4名）					
② 7月1日～2日 夏季宿泊（於 茨城） 参加者 22名（親含む）、指導員 4名、ボランティア 4名 （前年度：ボランティア 3名 → 今年度：ボランティア 4名）					
③ 9月2日 ぶどう狩り（於 茨城） 参加者 24名（親含む）、指導員 4名、ボランティア 2名 （前年度：ボランティア 1名 → 今年度：ボランティア 2名）					
④ その他屋外活動等					
助成金の使用金額及び使途					
① 男性有償ボランティア	延べ合計	10名	250,000円		
	（前年比）	延べ合計	6名	116,760円	
② バスチャーター代	合計		714,700円		
	（前年比）		537,050円		
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）					
特になし					